

生駒市の概要

○人口

約12万人

○面積

約53km²

○概要



生駒市は、奈良県北西部に位置し、江戸時代に創建された生駒聖天・宝山寺の門前町として発展しました。

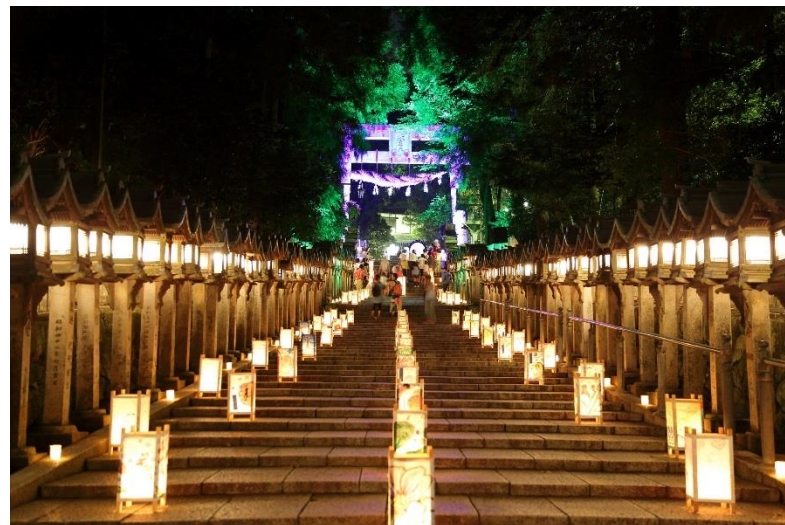
近年では、大阪市内への交通の利便性に加え、生駒山系の豊かな自然が魅力の住宅都市として知られています。



再生可能エネルギー
電源を順次拡大



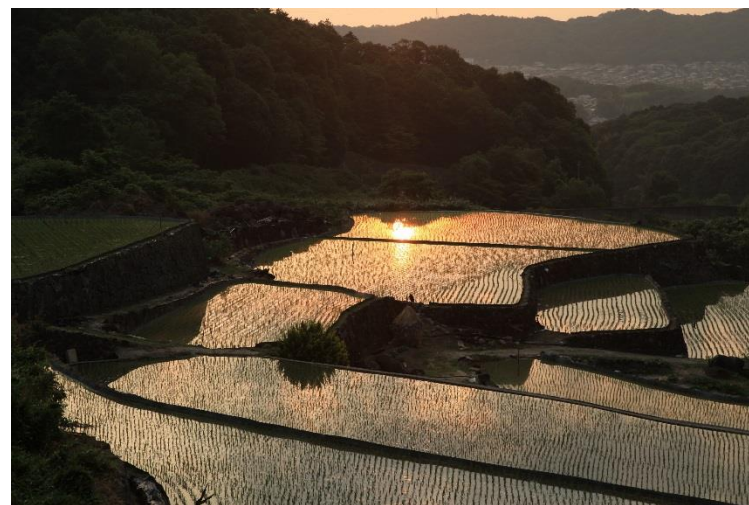
生駒山



生駒聖天・宝山寺



伝統工芸品「高山茶釜」



棚田

H29年7月いこま市民パワー株式会社を設立！

○事業内容

市域の再生可能エネルギーを最優先で調達し、公共施設、民間事業者、一般家庭に供給する電力小売り事業

○“いこま市民パワー”が目指すもの

～まちの魅力向上・課題解決に、エネルギーを切り口に取組む～

経済面 収益は、株主に配当せず、市民サービスやまちの活性化のために活用します。

環境面 新たな再生可能エネルギー電源の獲得、エネルギーの地産地消を進めます。

社会面 市民の皆さんと一緒に考え、創っていく「市民による市民のための電力会社」を目指します。

⇒全国初の市民団体が出資する地域新電力会社

⇒収益の使途を市民によるワークショップで議論

総合生活支援事業

「日本版シュタットベルケ」モデルの構築を目指す

コミュニティサービス例

ICTサービス

スマホ等を活用した
ICTサービス提供



高齢者見守り

教育関連

スポーツ講習、防災クッキング
環境出前講座



2014年、住宅都市として初めて環境モデル都市に選定

特徴

1. 大都市近郊の住宅都市
2. 自然豊かで歴史のある街
3. 高い市民力



課題

1. 少子高齢化

高度成長時代の人口増加率が全国屈指
＝高齢化のスピードは全国トップ5%
⇒人口増加により安定していた財政構造に揺らぎ

2. 産業構造の弱さ

住民税・固定資産税で税収の85%
⇒産業活性化の取組みが不十分

3. 市民力の活用

行政のみで全てのニーズに対応するのは不可能
⇒市民、コミュニティの力を活用する場作りが急務

全国の住宅都市共通の課題

環境モデル都市として「環境・エネルギー」を
切り口に課題解決に取り組む！